## すべての学校、学年、教科で共有し、 よりよい松山の学びをつくりましょう

# 【松山の授業モデル】 一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業 ~「教える授業」から「学び合う学習」へ~

〈授業を構想する際の主な要素〉

各校でのカリキュラム・	学校の教育目標、児童生徒の実態や発達段階、地域の特色等		
マネジメント	教科等横断的な視点		
授業改善の視点	<ul><li>興味や関心、見通しをもって取り組む「主体的な学び」</li><li>自己の考えを広げ深める「対話的な学び」</li><li>「見方・考え方」を働かせた「深い学び」</li></ul>		
全授業で共有	■ 学習課題の設定	■ 交流し考える学習	■ 学習の振り返り
すべき事項	■ 学習の基盤づくり		



#### ■ 学習課題の設定

- 事象との出合わせ方を工夫し、問いをも つことができるようにする。
- ・子どもの問いを生かして、学習課題を設定する。

(例)

興味・関心、意欲が高まる課題

#### 実生活や社会とつながる課題

見通し(ゴールやプロセス)をもてる課題

習得•活用•探究

### ■ 交流し考える学習

- 自分の思いや考えをもつ場面をつくる。
- ねらいの達成につながるよう、形式的な交流や活動ではなく、明確な意図で行う。
- 多様な考えを引き出すための問いや手立てを用意する。
- ・多様な考えと出合えるよう、様々な対話、 交流、表現、体験活動等を取り入れる。

交流•表現•体験

## ■ 学習の振り返り

- 学習内容や新たな気付きについて、振り返る場面を設定する。
- ・自らの成長や他者と共に学ぶ喜び を実感できるよう、振り返りの**視点、** 方法を明確にする。

内容×方法



# 学習の基盤づくり

- ・望ましい学習習慣や学習規律、教室環境づくり等に粘り強く努める。
- ・読み、書き、計算など基礎的・基本的な知識・技能の定着に努める。
- 子どもが考える場面と、教師が教える場面を組み立てる。
- ・よい「聴き手・話し手」を目指し、安心して学び合える関係づくりに努める。
- ICTを効果的に活用し、学習活動を充実させる。

#### 【実践上の具体的な方策や留意点及び授業改善のセルフチェック(例)】

全授業で共有すべき事項	具体的な方策や留意点	授業改善のセルフチェック(例)	
■ 学習課題の設定	<ul><li>○ 問い(気付き・発見)をもつことができるように、事象との出合わせ方を工夫する。</li><li>○ 子どもの問いを生かして、学習課題を設定する。</li><li>○ 現実社会の具体的な問題や、自分ごととして考えられる事柄を含んだ学習課題を設定する。</li></ul>	口 子どもの問いを引き出している。	
	○ たどり着きたいゴールイメージや、進むべきプロセスイメージをもてる学習課題を設定する。 (例)・習得型(基礎・基本の習得)(○○ができるようになろう)	□ 学習課題をいつも示している。	
習得•活用•探究	・活用型 (身に付けたことの活用) (○○を使って○○しよう) ・探究型 (問題解決) (○○は○○だろうか)	□ 解決の方法や視点をもたせる手立てを講じている。	
	<ul><li>○ 自分の思いや考えをもつ場面を設定し、個に応じた支援を適切に行う。</li><li>○ 様々な対話の対象(子ども同士、教職員、地域の人、先哲など)</li></ul>	□ 個で追究する (考える) 場面をつくる。	
■ 交流し考える学習	(例)・交流(ペア学習、グループ学習、話合い活動など) ・表現(発表会、討論会、創作活動など) 単独及びこれらの組合せ	□ ペアやグループなどで話し合う (考えを深め合う) 活動を 行っている。	
交流•表現•体験	<ul> <li>・体験(観察や実験、作業、実技など)</li> </ul>	□ 考えを書いたり発表したりする場面をつくる。	
	○ 閉じた発問(イエスかソー、答えが1つしかない)と開いた発問(答えが1つではない)の組合せ ※ 閉じた発問は、授業によいテンポ・リズムを生み出す。しかし、閉じた発問だけでは、授業は単調なものとな るため、思考力を刺激する開いた質問も必要である。	□ 交流・表現・体験する場面でICTを活用している。	
	<ul><li>○ 授業のねらいに応じて、内容や方法を明確にした学習の振り返りを工夫する。</li><li>○ 自分の言葉でアウトプットする機会を設けている。</li></ul>	□ 振り返りの場面をつくる。 (学んだことをアウトプットする機会を設けている。)	
■ 学習の振り返り 内容×方法	何を(振り返りの内容) どのように(振り返りの方法)		
	<ul> <li>・学習内容の定着</li> <li>・友人との学びの共有</li> <li>・見る・聴く振り返り</li> <li>・問い合う振り返り</li> <li>・見る・聴く振り返り</li> <li>・問い合う振り返り</li> <li>※ 作文、感想交流、確認問題、自己評価、相互評価、ポートフォリオ、パフォーマンス課題等</li> </ul>	口 振り返りの視点は、学習課題と対応している。	
	<ul><li>○ 教えるべきこと、身に付けなければならないことは粘り強く繰り返し指導する。</li><li>○ 学習習慣や学習規律、学習に対する基本的な姿勢を学校や学年で共有し、継続して指導する。</li></ul>	□ 学習内容が身に付いているかを確認し、定着に向けた手立てを講じている。	
■ 学習の基盤づくり	○ 「全体に向けて話す」「語尾までしっかり話す」「話し手に体を向けて聴く」「うなずきながら聴く」	□ 学習のルールを大切にして授業をしている。	
	など、具体的な約束を共有する。  ○ 困っていること、分からないこと、失敗や間違いなどを温かく受け止める集団づくりに努める。	□ 認め合える雰囲気づくりに努めている。	
	○ 日常的にICT と活用できる環境を整え、基本的な操作の習得や情報モラル等を自分の生活に 活用できるようにしていくよう努める。	□ ICTを目的に応じ効果的に活用するなど、情報活用能力を高めるよう努めている。	